

**フィーダー交通の計測調査について**  
**(あきる野市・町田市・小平市における取組報告)**

---

# フィーダー交通の計測調査について

## (あきる野市・町田市・小平市における取組報告)

---

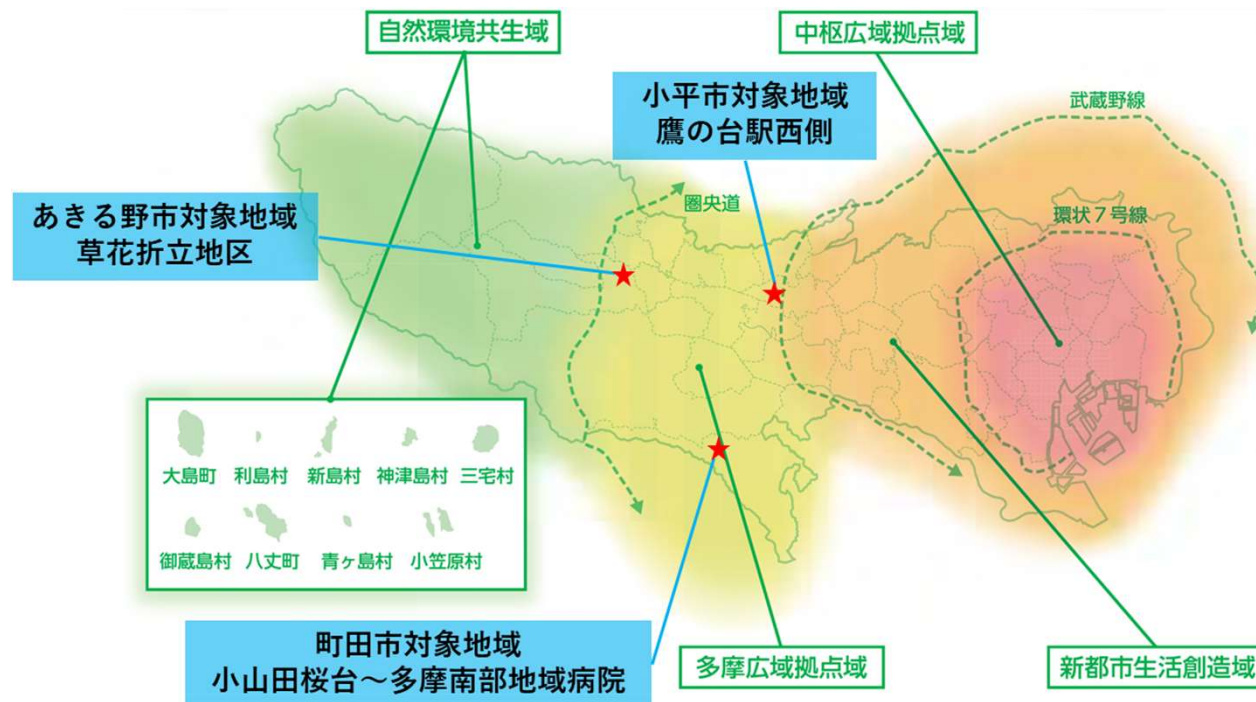
- 1 計測調査の概要
- 2 計測調査の結果

## 計測調査の目的

- 区市町村が行うフィーダー交通の実証運行において、計測機器を車両に設置して運行データを計測し、本格運行に向けた課題や対応策を整理して区市町村に対しフィードバック
- 結果を都における地域公共交通の在り方検討に活用




## モデル地区の選定

- 令和元年度までの調査を基にアンケート及びヒアリング調査を行い、下記の3地区を選定



出典：都市づくりのランドデザイン（平成29年9月/東京都）

# 各モデル地区における実証運行の概要

項目	あきる野市	町田市	小平市
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通空白地域における住民の移動支援と生活の質向上</li> <li>路線バス等既存の公共交通の利用促進に向けたフィーダー交通としての有効性の検証</li> <li>路線定期運行交通の有効性と課題の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小山田桜台から唐木田駅方面へのアクセス向上を目指し、利用需要の多い時間帯を把握するとともに、公共交通を利用する環境を醸成する。</li> <li>大型バスの走行環境が整い、バス事業者による自主運行が実現するまでの間、継続して運行（予定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域内の生活交通の確保</li> <li>地域組織が運行案の検討や利用促進策を実施し、市は情報提供や会議の開催支援を実施</li> <li>第1期実証運行後にルートを見直し、第2期を実施</li> </ul>
運行期間	令和2年9月1日 ～令和3年8月31日	平成29年12月18日～	令和2年10月26日 ～令和3年3月19日
運行区間	草花折立区域区内（循環）	小山田桜台～多摩南部地域病院	鷹の台駅西側地域（一部循環）
使用車両	ワゴンタイプ （9人乗り※運転手除く）  <small>出典：あきる野市ホームページ</small>	36人乗り小型バス（令和元年8月1日にワゴンタイプから変更）  <small>出典：町田市ホームページ</small>	ワゴンタイプ （9人乗り※運転手除く）  <small>出典：小平市ホームページ</small>
運行本数	10便/日（平日のみ運行）	唐木田駅方面17便/日、小山田桜台方面16便/日（平日のみ運行）	15便/日（平日のみ運行）
利用料金	100円/回	区間に応じ200円又は300円/回	150円/回

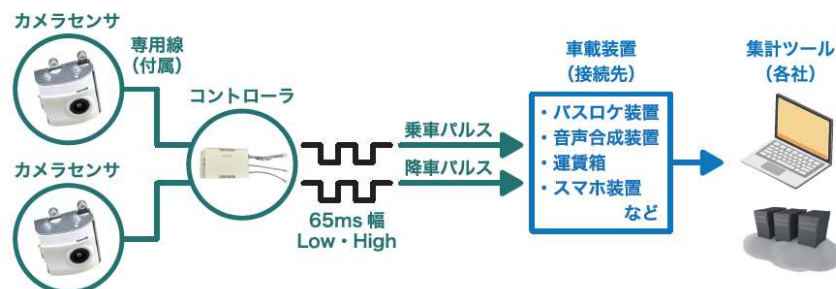
- AIによる画像処理で乗客・降車客を判断する車両搭載機器により、運行便別・乗降場所別乗降客数を計測
- スマートフォンを用いた簡易なバスロケーションシステムによりバス停を判別

計測機器設置例



自治体	モデル地区	計測期間
あきる野市	草花折立区域	令和2年9月1日 ～令和3年1月29日
町田市	小山田桜台・多摩南部地域間運行事業	令和2年10月1日 ～令和3年1月29日
小平市	鷹の台駅西側ルート第2期	令和2年10月26日 ～令和3年1月29日

## システム：車載接続例



# フィーダー交通の計測調査について

## (あきる野市・町田市・小平市における取組報告)

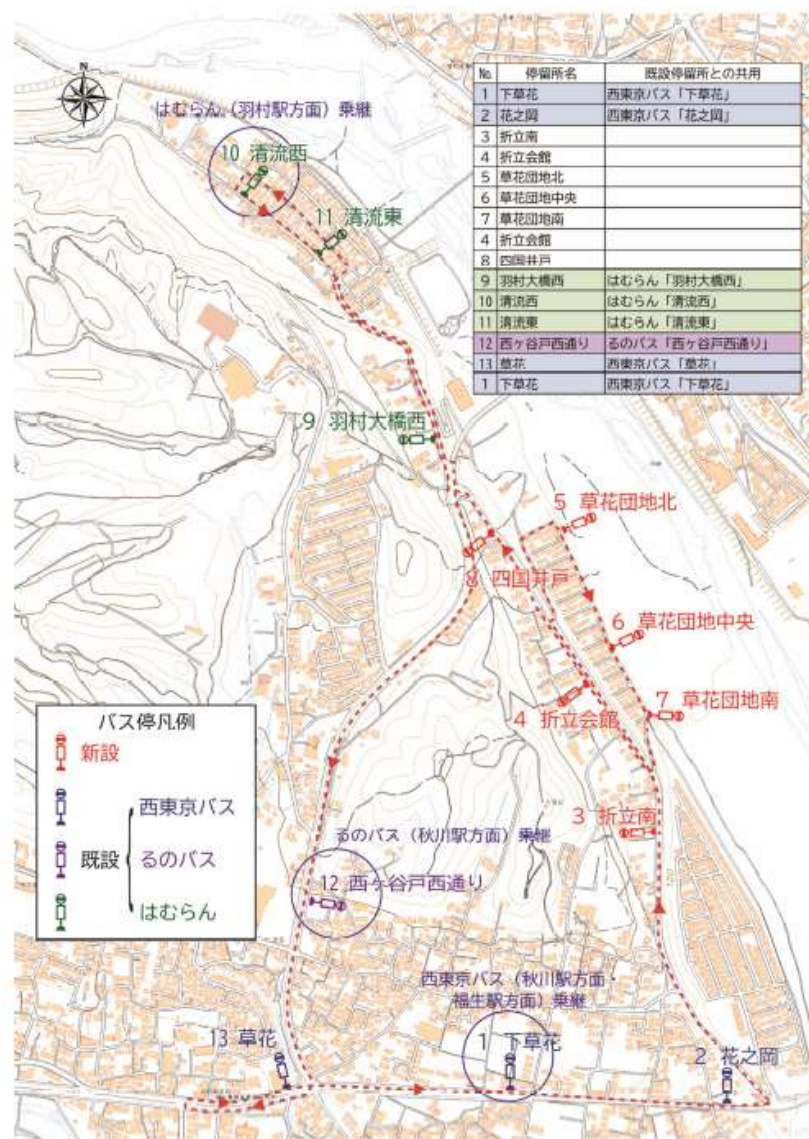
---

- 1 計測調査の概要
- 2 計測調査の結果

計測機器による調査の結果、次のことが可視化された

- 利用者数が最も多い時間帯は朝
- 乗車については、公共交通空白地域となっていた「⑥草花団地中央」で最も多かった。
- 降車については、福生駅方面への乗り継ぎが可能である「①下草花」で最も多かった。
- 近辺にドラッグストアや郵便局がある「⑬草花」での乗り降りも比較的多かった。
- るのバス（あきる野市コミバス）に乗り継ぎ可能な「⑫西ヶ谷戸西通り」及び、はむらん（羽村市コミバス）に乗り継ぎ可能な「⑩清流西」での乗り降りは少なかった。

運行経路図



出典：あきる野市ホームページ

計測機器による調査の結果、次のことが可視化された

- 通勤通学時間帯は、多摩南部地域病院行きの利用が集中し、夕方以降の時間帯では、小山田桜台行きの利用が集中していた。
- 利用総数では、多摩南部地域病院行きの方が小山田桜台行きに比べて1.7倍程度多かった。行きと帰りで異なる経路を利用する人が一定数いる可能性がある。
- 多摩南部地域病院行きでは「①小山田桜台」での乗車が最も多く、「⑧唐木田駅東」での降車が最も多かった。
- 小山田桜台行きでは「⑧唐木田駅東」での乗車が最も多く、「①小山田桜台」での降車が最も多かった。
- 一方、山間部の「⑥大善倶楽部」「⑦山中集会所」では両方向共に乗り降りが少なかった。

運行経路図



出典：町田市ホームページ



# 計測調査の結果概要（小平市）

計測機器による調査の結果、次のことが可視化された

- 駅前である「①鷹の台駅北」の他、「⑨南台病院前」「⑩いなげや小平小川橋店」といった病院やスーパーの付近において、乗り降りが多かった。
- 一方、「⑥小平西高校東」「⑪せきれい公園」「⑬⑭白梅学園・創価学園」では、乗り降りが少なかった。周辺に利用者の目的となる施設がない可能性がある。
- 曜日別では、木曜日の利用者数が他の曜日の1.5～2倍程度に増加していた。近隣店舗のセールなどと重なることが影響している可能性がある。



運行経路図

出典：小平市ホームページ

- 本格運行に向けた課題を分析するために運行データの計測調査を行い、区市町村へのフィードバックを行った。
- 計測機器を設置することにより、長期間にわたって容易にデータを集積することが可能となった。
- 一方で、ワゴン車などバスよりも天井が低い車両において、計測誤差が大きいと考えられる部分があり、精度に課題が残った。
- 課題分析や運行改善のエビデンスとして、利用者の実際の交通行動（どのバス停で何人乗り、どのバス停で何人降りるのか）を把握することは重要であり、**運行便別・乗降場所別乗降客数を計測することは極めて有用**
- 今回のフィーダー交通の計測調査では、地域の状況によっては、定時定路線型の運行形態が必ずしも適しているわけではないことが示唆された。
- 今後、地域公共交通の在り方を検討する上で、分析結果を活用していく。

最後に、計測調査に快くご協力いただきました、あきる野市・町田市・小平市の関係者の皆さま及び交通事業者の皆さまに御礼申し上げます。